

平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月11日

上場取引所 東

上場会社名 リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
 コード番号 9836 URL <http://www.levistrauss.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) ファイナンスコントローラー
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 齋藤 貴
 (氏名) 阿部 禎人

TEL 03-5785-5600

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	5,232	5.3	△379	—	△361	—	△454	—
25年11月期第2四半期	4,966	1.7	18	△77.5	84	△19.9	50	△35.0

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 △454百万円 (—%) 25年11月期第2四半期 50百万円 (△35.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	△15.71	—
25年11月期第2四半期	1.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第2四半期	5,440	2,057	37.8
25年11月期	5,655	2,512	44.4

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 2,057百万円 25年11月期 2,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社の連結子会社であるLVC JP株式会社は、平成25年11月27日の「連結子会社の解散および清算に関するお知らせ」に記載のとおり、現在、清算手続中であるため、連結業績予想は記載しておりません。

通期の個別業績予想の数値は次のとおりであります。(%表示は、通期は対前期増減率)

売上高 10,000百万円(8.6%)
 営業利益 △800百万円(-)
 経常利益 △700百万円(-)
 当期純利益 △840百万円(-)
 1株当たり当期純利益 △29円3銭

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料2ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期2Q	28,952,000 株	25年11月期	28,952,000 株
26年11月期2Q	20,720 株	25年11月期	19,945 株
26年11月期2Q	28,933,873 株	25年11月期2Q	28,933,888 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の第2四半期累計期間（平成25年12月1日～平成26年5月31日）における我が国の経済は、前年度からの緩やかな回復傾向が続き、4月の消費増税以前は高級品をはじめとして駆け込み需要が顕著に見られましたが、増税後はその反動も見られ消費者マインドはやや停滞しました。

このような経営環境のなかで、定番のデニムのロングボトムス以外のノンデニムのボトムスやトップスなどの品揃えを強化し販売に注力しました。売上については、消費増税前の好調な売上加えて、増税後も大きな反動はなく堅調に推移しました。この結果、当社の売上高は、前年同期比2億65百万円増加（前年同期比5.3%増）の52億32百万円となりました。しかしながら、売上原価は円安の影響を受けて原価率が著しく上昇したため、売上総利益は、4億52百万円減少（前年同期比18.8%減）の19億61百万円となりました。

販売費及び一般管理費については、前年同期比81百万円増加（前年同期比3.5%増）の24億48百万円となりました。また、経営の効率化を高めるため組織の合理化を目的とした一層の人員削減をすすめました。このため、特別損失に特別退職金が72百万円発生しました。

この結果、経常損失は3億61百万円、税金等調整前四半期純損失は4億38百万円、最終損益は4億54百万円の四半期純損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2億14百万円減少し54億40百万円となりました。これは、主に商品及び製品が4億90百万円増加し、現金及び預金が3億49百万円、売掛金が1億60百万円ならびに平塚流通センター売却に伴う土地1億27百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて2億40百万円増加し33億82百万円となりました。これは、主に買掛金が2億56百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて4億54百万円減少し20億57百万円となりました。これは、四半期純損失により利益剰余金が減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて3億49百万円減少し、14億23百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失4億38百万円となり、売上債権1億60百万円の減少、仕入債務2億56百万円の増加ならびに未払費用1億13百万円の増加等による収入がありましたが、たな卸資産4億90百万円の増加等による支出があったため4億39百万円（前年同四半期は2億12百万円の収入）の資金の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、平塚流通センターの売却による1億22百万円の収入等により90百万円（前年同四半期比61百万円の収入の増加）の資金の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、ファイナンスリース債務の返済による支出等により0百万円（前年同四半期比35百万円の支出の減少）の資金の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年1月17日付「平成25年11月期 決算短信」にて公表の業績予想（個別）を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成26年7月11日）公表の「業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照ください。

当社の連結子会社であるLVC J P株式会社は、平成25年11月27日の「連結子会社の解散および清算に関するお知らせ」に記載のとおり、現在、清算手続中であるため、連結業績予想は記載しておりません。

通期の個別業績予想の数値は次のとおりであります。（％表示は、通期は対前期増減率）

売上高：10,000百万円（8.6%）

営業利益：△800百万円（-）

経常利益：△700百万円（-）

当期純利益：△840百万円（-）

1株当たり当期純利益：△29円3銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年11月27日開催の取締役会において、連結子会社であるLVCJP株式会社を解散及び清算することを決議し、清算終了を平成26年2月下旬（予定）と記載しておりましたが、平成26年5月31日付で残余財産を確定し、平成26年7月中旬に清算終了する予定です。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,072	1,723
売掛金	1,098	938
商品及び製品	1,664	2,154
その他	279	220
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	5,112	5,035
固定資産		
有形固定資産	368	223
無形固定資産	13	13
投資その他の資産	160	168
固定資産合計	543	405
資産合計	5,655	5,440
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,112	1,368
未払金	888	915
未払法人税等	42	24
返品調整引当金	401	294
その他	395	503
流動負債合計	2,840	3,106
固定負債		
退職給付引当金	169	140
資産除去債務	123	127
その他	8	8
固定負債合計	301	276
負債合計	3,142	3,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,213	5,213
資本剰余金	1,541	1,541
利益剰余金	△4,221	△4,675
自己株式	△21	△21
株主資本合計	2,512	2,057
純資産合計	2,512	2,057
負債純資産合計	5,655	5,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
売上高	4,966	5,232
売上原価	2,122	2,788
その他	430	482
売上総利益	2,413	1,961
返品調整引当金繰入額	28	—
返品調整引当金戻入額	—	107
差引売上総利益	2,385	2,068
販売費及び一般管理費	2,366	2,448
営業利益又は営業損失(△)	18	△379
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	3
受取手数料	28	12
受取保険金	65	—
償却債権取立益	5	—
雑収入	1	0
営業外収益合計	101	18
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	35	—
営業外費用合計	35	0
経常利益又は経常損失(△)	84	△361
特別損失		
固定資産除売却損	0	4
特別退職金	8	72
特別損失合計	8	76
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	75	△438
法人税等	25	15
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	50	△454
四半期純利益又は四半期純損失(△)	50	△454

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	50	△454
四半期包括利益	50	△454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50	△454

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	75	△438
減価償却費	39	41
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2	△29
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
返品調整引当金の増減額(△は減少)	28	△107
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	5	—
受取保険金	△65	—
雑収入	△1	△0
有形固定資産除売却損益(△は益)	0	4
特別退職金	8	72
売上債権の増減額(△は増加)	77	160
たな卸資産の増減額(△は増加)	△76	△490
未収消費税等の増減額(△は増加)	△31	20
未収入金の増減額(△は増加)	160	20
前払費用の増減額(△は増加)	—	△19
仕入債務の増減額(△は減少)	△281	256
未払金の増減額(△は減少)	313	22
未払費用の増減額(△は減少)	30	113
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35	0
その他	△31	8
小計	214	△368
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
保険金の受取額	67	—
特別退職金の支払額	△24	△43
法人税等の支払額	△45	△34
法人税等の還付額	0	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	212	△439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7	△47
有形固定資産の売却による収入	—	122
敷金の差入による支出	—	△11
敷金の回収による収入	36	35
預り保証金の返還による支出	—	△9
預り保証金の受入による収入	—	0
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	29	90
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△36	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	205	△349
現金及び現金同等物の期首残高	2,476	1,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,682	1,423

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

平成26年7月11日開催の取締役会において、短期的な資金需要に対処するため、同一の親会社を持つグループ会社であるリーバイ・ストラウス インターナショナル グループ ファイナンス コーディネーション サービスズと短期借入契約を締結することを決議しました。